

とじょう
松戸市戸定歴史館 展示予定 令和5年度

〒271-0092 松戸市松戸714-1 Tel047-362-2050

通常展Ⅰ(前年度から継続)

「戸定邸再考— 徳川昭武 ひそかなお気に入り」

会期 令和5年2月4日(土)~5月28日(日)

【途中、一部資料の展示替えを行いながら実施します】

国指定文化財の戸定邸(旧徳川家松戸戸定邸)は、水戸徳川家当主・徳川昭武の私邸として建設されました。隠居後の住まいとして使用され、本邸(小梅邸)のように広く豪華な建物・敷地ではありませんが、戸定邸には各所に機能美を兼ね備えた意匠が施されています。海外を知る昭武が住まいとした戸定邸と、戸定邸での生活の中で彼が選んだもの=お気に入りについて推考する展覧会です。

夏季展

「殿様たちの自由時間」

会期 令和5年7月8日(土)~9月3日(日)

徳川昭武や兄・慶喜、昭武の息子・武定ら徳川家の人たちは、趣味の時間を楽しみ、いろいろな作品を残しています。特に明治新政府の政治から距離を置いていた昭武・慶喜兄弟は、写真、手芸、絵画、陶芸など幅広い分野に興味を持ち、熱心に探究を重ねました。松戸徳川家資料を中心に実際に手がけた趣味の品々をご紹介します。

企画展 松戸市制施行80周年記念事業

「徳川公爵家のバックヤード
— 最後の家令が見た半世紀」

会期 令和5年10月7日(土)~令和6年1月8日(月・祝)

※11月に展示替え休館を予定しています。詳細はお問合せください。

古澤秀彌氏旧蔵資料を13年ぶりにまとまった形で展示します。古澤秀彌氏は、徳川慶喜以下3代の公爵に仕え、昭和8年から22年にかけて徳川慶喜家で「家令心得」(ほかの職員をまとめ、家政をまかされる責任者)として務めた人物です。歴代当主からの信頼も厚かった古澤氏は、彼らから贈られた貴重な写真や装束、美術工芸品を大切に守り伝えました。最後の家令が見た近代徳川家のバックヤードを最新研究をふまえてご紹介します。

通常展2

「プリンス・トクガワと松戸」【仮称】

会期 令和6年1月27日(土)～5月6日(月・祝)

戸定邸は、徳川昭武が家族と暮らした邸宅であり、かつ「おもてなし」の場でもありました。四季折々の装飾や調度、祝い事や催し物によって戸定邸と庭園は様々な姿を見せ、地域の方々にとっても戸定邸は特別な存在だったでしょう。松戸徳川家やゆかりの家からの資料や写真、調度品、地域の方からお預かりした品々から、在りし日の徳川昭武と戸定邸、松戸について振り返る展覧会です。